

## 管内地域銀行の令和元年 9 月期決算の概要

### 1. 損益の状況

- 実質業務純益は、資金利益の減少はあるが、債券等関係損益の増加等により、前年同期に比べ 7.27%の増益。
- 中間純利益は、与信関係費用の増加等により、前年同期に比べ 13.87%の減益。

(単位：億円)

	29 年 9 月期	30 年 9 月期	元年 9 月期	前年同期比	
				増減額	増減率
業務粗利益	6,893	6,631	6,788	+156	+2.35%
資金利益	5,702	5,637	5,448	▲188	▲3.34%
役務取引等利益	986	993	1,000	+7	+0.73%
債券等関係損益	59	▲119	237	+356	+299.15%
うち、債券等償却(※)	0	▲2	▲13	▲10	▲467.53%
経費(※)	▲4,460	▲4,397	▲4,391	+6	+0.13%
実質業務純益	2,432	2,234	2,396	162	+7.27%
コア業務純益			2,159	—	—
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)			1,996	—	—
与信関係費用(※)	▲83	▲195	▲513	▲317	▲162.22%
株式等関係損益	568	416	310	▲105	▲25.33%
うち、株式等償却(※)	▲3	▲7	▲26	▲19	▲253.18%
中間純利益	2,092	1,869	1,610	▲259	▲13.87%

※ 債券等償却、経費、与信関係費用及び株式等償却については、正の値は益を、負の値は損を表す。

(参考)

	29 年 9 月期	30 年 9 月期	元年 9 月期	前年同期比	
				増減額	増減率
預金(未残)	102.3 兆円	105.4 兆円	107.0 兆円	+1.6 兆円	+1.56%
貸出金(未残)	76.8 兆円	79.2 兆円	81.3 兆円	+2.0 兆円	+2.61%

### 2. 不良債権の状況

- 不良債権額は 31 年 3 月期に比べ減少、不良債権比率も低下。

	30 年 9 月期	31 年 3 月期	元年 9 月期	31 年 3 月期比
不良債権額	12,664 億円	12,672 億円	12,540 億円	▲132 億円
不良債権比率	1.58%	1.55%	1.52%	▲0.03 ポイント

### 3. 自己資本比率の状況

- 自己資本比率は 31 年 3 月期に比べ上昇。

(国際統一基準行：4 行)

(国内基準行：18 行)

	31 年 3 月期	元年 9 月期	31 年 3 月期比
総自己資本比率	13.78%	14.07%	+0.29 ポイント
Tier 1 比率	13.14%	13.34%	+0.20 ポイント
普通株式等 Tier 1 比率	13.14%	13.34%	+0.20 ポイント

	31 年 3 月期	元年 9 月期	31 年 3 月期比
自己資本比率	9.72%	9.91%	+0.19 ポイント

(注1) 管内地域銀行の集計対象は22行(地方銀行13行、第二地方銀行8行及び埼玉りそな銀行)。30年3月期以前は23行。

(注2) 計数は単体ベース。

(注3) 今後、各行の精査等の中で変動し得る。

【お問い合わせ先】  
関東財務局理財部 金融監督第1課  
TEL 048-600-1145